

学習指導改善調査報告書

「つなげて考える力」を高め、思考力・表現力を育てる ～第3学年「かけ算の筆算」の実践から～

燕市立燕東小学校
教諭 長井 茂

1 はじめに

算数科において、子どもの思考力・表現力を育てるためには、「つなげて考える力」※を高めることが大切である。なぜなら、全国学力・学習状況調査のB問題にも出題されているように、児童自身の考え方で解決するのではなく、問題に登場する人物の思考に乗って、その考えを想像し、解答する力が求められているからである。また、算数という教科の特性から、既習事項とつなげて考える力も必要とされている。そこで、次の2点に留意し、授業を構成した。

※「つなげて考える力」とは、「他者の意見につなげる力」と「既習事項と本習事項をつなげる力」である。

2 実践のポイント

- 活用問題を複数取り入れた単元構成
- 他者説明を意図的に取り入れた授業構成

3 実践の概要

(1) 指導計画 (全10時間)

次	時	学習活動	評価規準 (◎)	活用問題
1	1	・(何十) × (1位数), (何百) × (1位数) の意味や答えの求め方を説明する。	◎被乗数が何十, 何百の場合の乗法の答えを, 10がいくつ分, 100がいくつ分と考えて, 九九を用いて求めることができたか。	
2	2	・(2位数) × (1位数) 計算の仕方を考える。	◎「いつでも使える」の視点で, 位ごとに分けて考える方法をこれから選ぶことができたか。	・かけられる数を分けて考える方法の中から, 「位ごとに分ける」方法を見いだす問題
	3	・繰り上がりのある(2位数) × (1位数) の計算を筆算でする。	◎繰り上がりのある筆算の仕方を理解し, 計算することができたか。	
	4	・繰り上がりが2回ある筆算を考える。	◎繰り上がりが2回ある筆算の仕方を理解し, 計算することができたか。	
3	5	・(3位数) × (1位数) の計算の仕方を考える。	◎ (3位数) × (1位数) の計算の意味が分かり, 筆算が正しくできたか。	
	6	・繰り上がりのある(3位数) × (1位数) の計算方法を考える。	◎これまでの筆算や位取りをもとに, 繰り上がりがある計算をすることができたか。	
	7	・(4けた) × (1けた) の計算の仕方を考える。	◎ (2位数) × (1位数), (3位数) × (1位数) の計算方法をもとに, 桁が増えても同じようにできることが分かったか。	・既習事項から, (4けた) × (1けた) の筆算の方法を考える問題
4	8	・ 24×3 の暗算を考える。	◎暗算の仕方をまとめ, 答えを求めることができたか。	
	9	れんしゅう・力だめし	◎これまで学習したことをもとに, 問題に答えることができたか。	
	10 本時	・2から5までのカードを1枚ずつ使ったときに, (3位数) × (1位数) で答えが一番大きくなる筆算を作る。	◎かけられる数・かける数をできるだけ大きくすれば良いことに気付き, 既習事項を活用しながら友達に説明することができたか。	・(3けた) × (1けた) の虫食い算で, かけられる数とかける数をどんな数にすれば答えが大きくなるか考える問題

